

——「本会出版物に掲載された論文等の著作権の利用申請基準」の一部改正について——

著作権管理委員会

著作者あるいは著者所属機関が、本会論文誌に掲載された論文を所属機関のホームページ等に掲載して公開する場合、これまで、論文誌発行後6か月間の公開制限を設けておりましたが、このたび公開時期の制限を撤廃致しました。

これにより、著作者の所属機関が運営する Web ページであれば、一定条件を満たすことを前提に発行後ただちに論文の掲載が可能となりました。

一定条件の詳細につきましては下記の表「利用申請基準」を御参照下さい。

(利用申請基準は、下記 URL 『著作権規程』と解説』の末尾にも掲載されています。)

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/chosakukenkitei.html>

本会出版物に掲載された論文等の著作権の利用申請基準

＜利用にあたっての基本方針＞											
以下の表は、①発行後による利用であること、②非営利目的による利用であること、③本会の利益を不当に侵害しない範囲における利用であること、を前提とする。営利目的の場合は、すべて利用申請が必要。営利目的の場合の諾否については本会著作権管理委員会において審議する。また著作権法（第30条（私的使用のための複製）、32条（引用）、35条（教育機関における複製）など）で認められている利用の範囲であれば、いずれの場合も利用申請は不要である。											
事例	申請者	利用対象	利用先媒体	学会への書面による利用申請	論文誌（注5）		会誌、大会講演論文集等		技術研究報告		
					利用可能時期	不要であること の条件	利用可能時期	不要であること の条件	利用可能時期	不要であること の条件	
1	著作者	自分の論文全文	自分個人のサーバ（注1）、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	右記の条件を満たせば不要（注2）	発行後	A, B, C, E	発行後	A, B, C	発行後	現在検討中	
2			所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体								
3			紙媒体								
4		自分の論文の一部（図面など）	自分個人のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行後（注3）	A, C	発行後（注3）	A, C	発行後（注3）	現在検討中	
5			所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体								
6			紙媒体								
7	著作者の所属機関	著作者の論文全文	所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	右記の条件を満たせば不要	発行後	A, B, C, D, E	発行後	A, B, C, D	発行後	現在検討中	
8			紙媒体								
9		著作者の論文の一部（図面など）	所属機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行後	A, C, D	発行後	A, C, D	発行後	A, C, D	現在検討中
10			紙媒体								
11	著作者または著作者の所属機関以外の第三者	論文全文	自機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体	要	発行日から6か月後	(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, B, C, D, E, F	発行後	(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, B, C, D, F (注4)	発行後	現在検討中	
12			紙媒体		発行後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F
13		論文の一部（図面など）	自機関のサーバ、CD-ROM、DVDなどの電子的媒体		発行日から6か月後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F (注4)
14			紙媒体		発行後						(書面による利用申請を提出の上、本会から以下の条件で許諾) A, C, D, F

条件A 権利表示（例 copyright © 2012 IEICE）
 条件B 出版社版 PDF（発行された紙版をスキャンで作成したもの含）の掲載。著者最終版は不可。
 条件C 出所の明示（例 著作者名、書名（題号）、雑誌名、巻、号、頁、発行年など）
 条件D 著作者の了解
 条件E IEICE Transactions Online トップページへのリンク
 条件F 許諾番号の表示

注1：自分個人のサーバ：著作者がアップロードや削除を他の人の同意なしに行えるサーバ。大学研究室や企業の研究室のサーバは機関のサーバとみなす。
 注2：事例1～6で、論文を共同執筆の場合、利用後にトラブルが発生しないよう著作者間での連絡をお願いしたい。
 注3：事例4、5、6の場合については、発行前のもので許諾することがある。
 注4：会誌並びに大会講演論文集については、それぞれ法人用DVD、CD-ROMを発行している。それらを購入の上同封の「同意書」を本会事務局まで送付した場合は、機関においてローカルPC上での利用、またはネットワーク（LAN）上でのファイル共有による閲覧が可能。
 注5：“IEICE Electronics Express”, “Nonlinear Theory and its Applications, IEICE”, “IEICE Communications Express”含む。